

製品仕様

サイズ:φ1.6×300mm
3本入り
作業温度:221℃
引張強度:46N/mm²
(4.7kgf/mm²)
フラックス内容量:5g

仕様

危険有害性情報 危険



吸入すると有害
(気体)



重篤な皮膚の薬傷
重篤な目の損傷



呼吸器の傷害

製品名:鉛フリーハンダ フラックス付
成分(銀ロウ):錫96.5%
銀3.5%
成分(フラックス):グリセリン90%
臭化水素酸10%

適応熱源



パワー Torch



プロパンバーナー



スポットフレイム

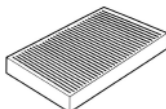


ポケット Torch



ハンダゴテ

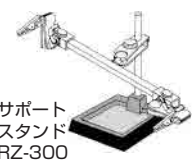
関連商品



セラミックボード RZ-400



カーボンプロテクター RZ-401



サポートスタンド RZ-300

用途

- ・ステンレスの流し台の修理
- ・金属製玩具の修理
- ・家庭用品の修理
- ・各種模型制作

注意

アルミ・チタンなどの金属のハンダ付にはご使用になれません。

当社では鉛フリーハンダ、カドミウムフリーの銀ロウ等環境に優しい製品づくりに努めています。

商品に関するお問い合わせ、ご質問は下記までお願いします。

お客様係 TEL.0533-75-5000



紙台紙 カバー PET

日本製

製造発売元
新富士バーナー株式会社
愛知県豊川市御津町御幸浜1号地1-3
http://www.shinFuji.co.jp/



フラックス 5g付

無駄なく使える
DIYのための
便利セット

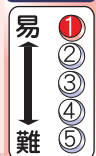
RZ-109

※付属のフラックスをご使用ください。
対応フラックスRN-209

使用感は鉛を含んだハンダとほぼ同等

鉛フリーハンダフラックス付

難易度表示



製品特徴

有害物質の鉛を含まないハンダ

対象金属
鉄・銅
ステンレス
真鍮・銀
非対象金属
アルミニウム
チタンなど

POHS対応商品



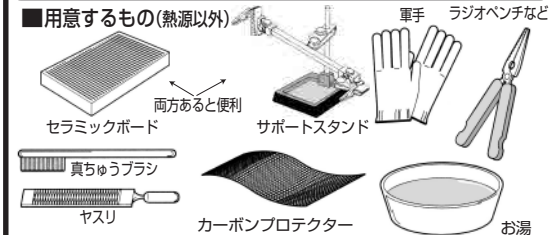
ハンダ付の作業方法を動画でチェック

フラックス付

※基本的な作業は、中面をご覧ください。

鉛フリーハンダ フラックス付 RZ-109

基本的な作業方法



- 作業1
ハンダ付面の汚れ、油分などを落とし、ヤスリ、サンドペーパーで磨き地肌をだします。ハンダ付面に付属のフラックスを塗ります。(金属表面の酸化被膜を除去し、酸化を防止してハンダの流動性"ぬれ"をよくするため)
- 作業2
サポートスタンド、バイス等を使って母材が動かないように固定し、バーナーでハンダ付部分を弱火で加熱します。
- 作業3
フラックスが沸騰し、水分が少なくなった時点でハンダをさします。この時、ハンダに直接炎を当てないようにします。
- 作業4
ハンダが完全に流れたらすぐにバーナーの炎を離します。
- 作業5
ハンダが固まり、まだ熱いうちにお湯に入れ真鍮ブラシなどで洗い、フラックスの残滓等を除去します。

上手にロウ付するコツ

- 1.母材の隙間が0.05mm~0.12mmの時、最高の強さが得られます。隙間が広いと弱くなります。
- 2.母材の大きさが異なる場合、必ず大きい方から先に加熱し、小さい方と同時に適温になるようにしてください。
- 3.炎を直接ハンダにあてずに、母材を加熱し、その熱でハンダを溶かしてください。
- 4.フラックスの残滓は完全に除去してください。不完全ですとサビや腐食の原因になります。

ハンダ付: Q&A
Q:「バーナーを使ってハンダは溶けてきているのですが玉のようになって流れません。どうしたらいいですか?」
A:可能性として以下の原因が考えられます。

失敗の主な原因	対策
母材表面の汚れ	表面を磨き、地肌をだしてやり直す。
母材を加熱し過ぎ	フラックスの有効成分が過熱により失われているため、バーナーの火力を抑えて使う。
フラックス不足	フラックスを十分塗り、やり直す

ハンダ付失敗後、やり直す際は、母材に付いた黒い汚れ等を取り除き、表面を磨いて母材の地肌を出しフラックスを再度塗ってください。

- 用途で選べるロウ材シリーズ
- 一般用銀ロウ / RZ-100
 - 強力タイプ銀ロウ / RZ-108
 - アルミ硬ロウ / RZ-101
 - 鉛フリーハンダ / RZ-109
 - リン銅ロウ / RZ-102
 - 粉末銀ロウ / RZ-150
 - アルミソルダー / RZ-103
 - 粉末アルミロウ / RZ-151
 - 万能ハンダ / RZ-106
 - 粉末ハンダ / RZ-159
 - 細工用銀ロウ / RZ-107

使用上の注意 危険

- 1.フラックスには有害な臭化水素酸が含まれています。絶対に飲み込んだり、目に入れたり、皮膚に触れたりしないでください。人体に重大な危険を及ぼすおそれがあります。
- 2.フラックスが誤って目に入った場合は直ちに水で洗い専門医の診断を受けてください。誤って飲み込んだ時はよく口の中を洗い、吐いたのち医師の診断を受けてください。また、皮膚に付着した時は石鹸で十分洗浄し、必要に応じて専門医の診断を受けてください。
- 3.付属のフラックスを使い切ってしまった際には、RZ-209(別売)をお買い求めください。
- 4.ハンダ付作業の際は、やけど、火災に十分注意してください。
- 5.ハンダ付作業中は必ず換気を行ってください。
- 6.ハンダ付作業後は、必ず手を洗ってください。
- 7.お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 8.ハンダは、作業終了後乾燥した場所に保管してください。
- 9.他種のロウ材や金属と接触させて保管しないでください。

ハンダ付、ロウ材に関するお問い合わせ、ご質問は下記までお願いします。
お客様係 TEL.0533-75-5000

ハンダ付の方法について私がお説明します。中面をご覧ください。